

# あかれんが

## † 複十字病院だより

〒204-8522 清瀬市松山3-1-24  
TEL : 042-491-4111 <http://www.fukujuji.org>

【発行責任者】 院長 後藤 元



秋篠宮文仁親王殿下、秋篠宮妃紀子殿下病院御視察の際、記念植樹されたしだれ桜。複十字病院の南館へ行く渡り廊下から観ることが出来ます。

## 巻頭言 手術後 わがままのススメ

副院長 池田 義毅

消化器外科医になって、38年が過ぎた。先日、手術をした胃痛患者の退院間際の話です。

「お酒を飲んでもいいですか?」「いいですよ!」

私の返事に患者さんは満面の笑みをたたえ、横で奥さんが苦虫をかみつぶしたような顔をしていた。60歳後半の男性で、生来ネアカで陽気な酒好きの人である。内心は色々悩んでいたであろうが、癌と診断されても周囲には落ち込んだ様子はみじんも見せず、術後お酒が飲めるかどうかだけを心配していた。

胃全摘をすると食事は間違いなく減る。体重も10kg近くはやせる。

一般的にはお酒は禁止されることが多い。

しかし、過量にさえならなければ禁止する理由はない。ただ直接小腸に流れ込むので吸収がよくなり弱くなる人が多い。

アルコールはダメ、辛いものはダメ、タバコはダメ、スポーツはダメ、ゴルフはダメ、ダメ出しのオンパレードである。しかし、本当にダメなものは少ない。

以下、「わがままのススメ」を挙げる。

### ① 食べたい時が食べるとき、食べたいものが食べるもの。

術後の食事は、流動から粥、そして常食となる。コッテリしたものが食べたい時もあるし、お茶漬けで済ませたい時もある。病院でメニューの選択はむずかしい。

食べたいもので食欲がわくなら、よく噛めば何でもいいと思う。

### ② 「頑張ってるね」と言わない。

「頑張ってるね」と病室を訪れる人は言う。「何をどう頑張るのか」と患者は戸惑う。

この言葉は患者には重い。痛みに耐え、むかつきに耐え、不安と苦痛に耐えている。

中には死を覚悟している患者もいる。

実際、「頑張ってるねと言われるほどつらいことはない」と悲しんだ末期ガンの方もいた。まして病気で体力も気力も落ち込んでいる患者にそれを求めるのは酷である。

私は患者には頑張るの必要のないこと、我慢する必要のないことを話し、むしろ「わがまま」を言うように勧めている。

### ③ 義理を欠くこと

患者の中には昔気質の義理固い人がいる。自分が病気でありながら、周りの人に気を遣い、家族や友人にまで迷惑をかけてとすまなそうにしている。そんな人には義理を欠くことをすすめている。そして、人にどう思われようと自分がしたくないことはせずに、したいことだけをするようにすすめている。

儀礼的なことをやめて気分が本当に楽になり、病気の治療に専念できたと喜んだ患者を何人もみている。

以上「わがままのススメ」である。

# 第10回院内発表会を終えて。

実行委員長 **生形 之男**

2014年12月13日に第10回院内発表会が結核研究所講堂で行われました。今年には各部署、委員会より34演題の発表、後藤院長と尾形副院長の特別講演が行われました。約半日の長丁場でしたが、皆さまお疲れ様でした。また、予防会本部や新山の手病院からも多数の方に参加して頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年も優秀賞5題が審査員によって選考されました。今年の優秀賞は以下の5演題が選ばれています。



経理課	事務部勉強会の立ち上げについて	荒井 友範
診療録管理室	退院後14日以内のカルテ受領率の報告	一戸 良江
2C病棟	病院枕を使用した快適な寝床内環境への援助～頸椎弧測定法を用いて～	関川 悠子
訪問看護ステーション	「笑顔」を支える訪問看護～笑顔の写真集～	花澤 敬子
呼吸ケアサポートチーム	実例から学ぶ、人工呼吸器管理のトラブルシューティング	吉田 勤

発表者全員が発表時間を厳守され非常にスムーズに会を進行することができました。各座長、各委員の方々、1人で予行演習を担当して頂いている倉島先生に御礼申し上げます。

年々、院内発表会で是非発表したいとの積極的な申し込みをされる部署も増えてきています。職種を超えた職員の交流の場であり、複十字病院の忘年会を兼ねた院内発表会に、来年も数多くの職員が参加されることを希望いたします。



## 複十字病院走ろう会、立川シティハーフマラソン2015に出場

走ろう会会長（自称） **石黒 和夫**

複十字病院走ろう会のメンバー約10名が、今年も立川シティハーフマラソンに出場しました。当日は冷たい雨の降る厳しいコンディションの中、数名の脱落者が出ることも覚悟しましたが、全員21km以上を走り抜けゴール出来た事には感動さえ覚えました。その後は、立川駅前の居酒屋で打ち上げをやり、お互いの健闘をたたえあいました。マラソンは走っている時は基本的に一人で他人は関係ないのですが、やはりひとつの大会に大勢で出場すると楽しいものです。

複十字病院走ろう会は、病院職員でジョギングを趣味にしている有志がかってに作った会です。特に会則、入会金、年会費など無いお気楽な会です。走りに興味のある方は私に声をかけてみて下さい。（秋には清瀬市民マラソンに出る予定です）



# 入退院支援室の役割

入退院支援室 鷹觜 昌子

2015年1月、相談支援センターに『入退院支援室』が開設されました。誕生したばかりで、まだ、どんなことをする部署なのか知らない職員は多いだろうと思います。まして患者様やご家族にとっては更に、正体不明の部署ではないでしょうか。そこで、入退院支援室が当院で、どのような役割を果たそうとしているのか、この紙面をお借りして、お話しさせていただきます。

相談支援センターは入退院支援室の他、医療連携室、医療福祉相談室、予約センター、がん相談室の5部門で構成され、病気に伴って生じる医療や福祉などに関わる様々な問題や悩みの解決に向けて、患者さんやご家族と共に協働するという役割を担っています。

そして、これらの役割のうち“入退院”に関連した内容について支援するのが入退院支援室です。

入退院支援室が行っている現在の業務は『入院が必要な患者さんの入院病床を速やかに探す』というものです。以前は外来看護師や事務職員が担っていた業務ですが、入院病床がなかなか決まらず具合の悪い患者さんをお待たせする、という問題がありました。この問題を解決するために入退院支援室が緊急入院（夜間や土日休日以外）への対応を行うことになりました。

これにより、以前よりも速やかに患者さんを入院病床へご案内できるようになりました。また外来看護師や事務職員の業務負担が軽減され、病棟看護師への情報提供もスムーズになりました。これは医師や外来、病棟スタッフの大きな協力があってこそできたと考えています。

入退院支援室で実施できているのは現在、上記業務だけですが今後は右の表の内容を実施しようと考えています。

入退院支援には“入院前”と“退院後”という期間も含まれると私は考えていますので、入院する迄の準備期間と退院後の生活迄を見据えた支援を目指します。

これらの業務を全て実践できるまでには、まだまだ時間がかかりますが、できることから徐々に業務範囲を拡大していこうと考えています。

誕生したばかりの“入退院支援室”をどうぞ宜しくお願いいたします。

相談支援センター

がん相談

医療連携室

医療福祉相談

予約センター

入退院支援室

- 入院時の基本情報聴取
- 入院オリエンテーション
- 入院に関わる検査や手術の説明
- 持参薬の確認や中止薬の説明
- 入院日迄の生活の様子確認等
- 入院や退院で発生する問題解決への支援
- 入院に関わるICへの外来での同席
- 退院調整
- 退院に関するICへの病棟での同席や退院カンファレンスへの参加
- 退院後支援（退院後の生活の様子確認と問題発生等が無いかなどの確認）



# new! 新 医師の紹介



おおさわ あやこ  
**大沢 文子**

- 配属先 / 放射線診断科
- 出身地 / 群馬県前橋市

**【大学】** .....  
弘前大学1992（平成4年）卒、  
聖マリアンナ大学院1999（平成9年）卒

**【主な経歴】** .....  
1992年 東京都立府中病院  
1994年 聖マリアンナ医科大学大学院  
1999年 杏林大学放射線医学教室  
2005年 セコム医療システムホスピネットセンター  
2009年 河北総合病院

2013年 調布東山病院  
2014年 立正佼成会付属佼成病院

**【専門医】** .....  
放射線科診断専門医

**【趣味】** .....  
読書、旅行

**【患者さんへのメッセージ】** .....  
画像診断領域の進歩は目覚ましいので、診断に役立つ画像を提供できるよう、努力致します。



かまがた ちひろ  
**鎌形 千尋**

- 配属先 / 麻酔科
- 出身地 / 千葉県

**【大学】** .....  
日本医科大学2005年卒

**【主な経歴】** .....  
東京女子医大で研修医時代を過ごし日本医科大学麻酔科医局へ入局。その後麻酔業務を行いながら日本医科大学大学院にて疼痛の研究を行う。付属病院でのスタッフ勤務の後榊原記念病院にて2年間心臓手術麻酔に従事し現在に至る

**【専門医・認定医資格】** .....  
麻酔科標榜医、麻酔科専門医、心臓血管麻酔専門医

**【趣味】** .....  
ロードバイク、映画鑑賞

**【患者さんへのメッセージ】** .....  
安全に手術が出来て、術後の痛みもなく速やかにリハビリが行えるように頑張ります。



こばやし しゅんすけ  
**小林 俊介**

- 配属先 / 糖尿病科
- 出身地 / 埼玉県

**【大学】** .....  
日本医科大学2010年卒

**【主な経歴】** .....  
日本医科大学大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科

**【専門医・認定医資格】** .....  
日本内科学会認定医

**【趣味】** .....  
国内旅行

**【患者さんへのメッセージ】** .....  
皆さんと共に診療を行いたいと思います。よろしくお願いたします。



あらい たかあき  
**新井 孝明**

- 配属先 / 消化器外科
- 出身地 / 埼玉県さいたま市

**【大学】** .....  
杏林大学2012年卒

**【主な経歴】** .....  
杏林大学病院にて初期研修医を行い消化器外科に入局

**【専門医・認定医資格】** .....  
なし

**【趣味】** .....  
スポーツ

**【患者さんへのメッセージ】** .....  
何でも気軽に相談してください。話しかけやすいDrを目指します。



あそう じゅんぺい  
**麻生 純平**

- 配属先 / 呼吸器内科
- 出身地 / 生：北海道、育：千葉

**【大学】** .....  
杏林大学2012年卒

**【主な経歴】** .....  
2012-2014年：杏林大学病院 初期研修医  
2014年-：杏林大学病院 呼吸器内科

**【専門医・認定医資格】** .....  
なし

**【趣味】** .....  
スポーツ（野球）観戦

**【患者さんへのメッセージ】** .....  
皆様に満足して頂ける医療を提供できるよう努力いたします。

# 新しいPT (理学療法士) の自己紹介

## 呼吸ケアリハビリセンター付部長



せんじゅう ひであき  
**千住 秀明**

(前 長崎大学大学院教授)

4月1日付けで採用されました千住秀明(せんじゅう ひであき)です。前任地は、長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 リハビリテーション科学講座に勤めていました。長崎では30年間に亘り、主として呼吸リハビリテーションの普及・啓発活動、エビデンスの構築など、教育、研究、臨床活動に携わってきました。しかし、今日の我が国において、呼吸リハビリテーションは多くの呼吸器障害に苦しむ患者さんの期待に応えるまで普及・定着していません。

ここ清瀬は呼吸リハビリテーションの発祥の地です。この聖地から臨床の視点で、呼吸リハビリテーションを再構築し、患者さんのニーズに応えられるよう努力したいと思います。

慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、予防と治療が可能な疾患です。そのためには、「COPDの早期発見・早期治療」が不可欠です。具体的な目標として、まずは我々が平成6年から長崎県松浦市で取り組んできたCOPD病診連携をこの清瀬市に移植することを試みたいと思います。そして、首都圏に呼吸リハビリテーションのモデル施設を作りたいと思います。呼吸ケアリハビリセンターには、吉田センター長が既に6年前から着任しています。センター長やスタッフと協力し、急性期、慢性期、維持期までシームレスな呼吸リハビリテーションサービスが提供できるモデル施設の構築を目指したいと思っています。

そのためには職員の皆様の協力が不可欠です。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 清瀬どろんこ保育園

園長 山田 千恵

複十字病院の敷地内にある「みどり保育園」を平成26年4月から引き継いだ「清瀬どろんこ保育園」は、社会福祉法人どろんこ会が設置運営する認可保育園です。一般的な認可保育園の開園時間は、7:00~20:00ですが、当園は院内保育所の機能もそのまま引き継ぎ、24時間運営のスタイルをとっています。開園当初は、新しい運営スタイルに戸惑いもありましたが、子ども達は「今日のお泊りはだれ?」と認可枠、病院枠に関係なくすぐに仲良くなりました。

病院敷地内や近隣は、四季が感じられる環境が整っていて、春は桜の木の下でお花見、夏は敷地内で生まれたカブト虫やクワガタ虫が毎朝病院の方より宅急便(?)で届けられ、園のまわりでもバッタやセミ捕りが楽しめました。秋には親子参加行事の運動会があり、楽しく体を動かすひとときを過ごしました。冬にはクリスマス会があり、病院の方にサンタクロースに扮してプレゼントを持って来てもらい、子ども達は大喜びで大変盛り上がりました。

豊かな自然と安全な病院敷地内で、地域の方々に見守られながら、大きな事故や怪我もなくのびのびと過ごしてきたこの一年ですが、現在認可枠36名、病院枠8名の定員はほぼいっぱい状態です。平成27年4月からは、現施設に隣接する形で園舎が増築され定員も認可枠90名、病院枠20名と大幅に増員となり、更ににぎやかになる予定です。地域に根差し、必要とされる保育園となるよう真心を込めた保育を心掛けてまいります。

平成27年3月





# 肺2大疾患同時検診 が開始されました。

放射線診療部 副部長 花井 耕造

複十字病院において新しく「肺2大疾患同時検診」が本年2月より始まりました。肺2大疾患とは癌の中で死亡率が1位の「肺がん」と、最も話題の「COPD：慢性閉塞性肺疾患」の2つです。共に早期発見、早期介入が最も効果的に働く疾患です。是非に肺2大疾患同時検診をお受け下さい。



## 都知事賞受賞 ～継続は力なり～

栄養科 川崎 由香理

昨年12月、当院院長室にて都知事賞をいただきました。この賞は、東京都内で勤続20年以上、50歳以上であること。過去10年間に地域や施設で公衆衛生向上のための活動があることが条件です。他、学会発表・執筆・講演・資格取得などの実績をもとに保健所からの推薦を受け、選考されます。今年度の受賞者は4名でした。

新卒で「結核研究所附属病院（現在の複十字病院）」に就職し、予防会初の双子出産・育児を経て今年4月には34年目を迎えます。女性が働き続けるためには、環境や家族・職場スタッフなどまわりの方々の協力があることは必須です。今まで支えていただいた方々に感謝いたします。

私自身は、「必要と感じた資格は速やかにとる」「依頼された仕事は快く引き受ける」「健康支援者として自分自身が運動・食事・余暇のバランスをとり、楽しく過ごす」ことを心掛けてきました。

地域活動ではイベント開催や会の運営を、栄養士サークルでは、文章・話し方・写真・マナー教室などを共に学べる仲間がいることも、モチベーション維持の大きな力となっています。

栄養士は、食を通して人を元気にしてあげられる仕事です。

今回の受賞が、今後の栄養士の活躍の一助となれば幸いです。今後とも、ご指導・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



栄養士サークルで毎年参加しています。



山形ツーリング



# 清瀬消防署と 合同消防演習 を実施して

防災委員会 庶務課 瀧口 竜太

去る2015年2月13日（金）、昨年度に引き続き清瀬消防署と合同で大規模消防演習を実施致しました。

まず始めに、演習にご尽力していただいた東京消防庁並びに清瀬消防署の方々、清瀬医師会・清瀬市役所、そして見学に来ていただきました多くの近隣住民の方々、そしてご協力いただきました病院職員の方々、この場をお借りいたしまして、本当にありがとうございました。

昨年との大きな違いとして、訓練想定時刻が昨年度は夜間を想定しましたが、本年は午後3時震度6弱の直下型地震が発生したと想定しました。火災発生場所も昨年度の1か所から全棟対象の3ヶ所に拡大しました。病院職員による初期消火・避難誘導に続いて、消防隊・レスキュー隊の演習が始まり、昨年同様、迫真の突入や救助活動等実施して、特殊消防車両として「スーパーアンビュランス」も来院して、病院と救急隊によるトリアージ訓練も実施する事ができました。

また、昨年度清瀬市と当院にて締結した「災害時における緊急医療救護所の提供に関する協定」に基づき、清瀬市役所と医師会も当日、緊急医療救護所を設置する訓練を実施しました。

訓練が始まる頃には、午前中の快晴が嘘のような極寒となってしまいましたが、最後は後藤院長による号令にて一斉放水を行い、無事に訓練を終了する事ができました。規模を拡大した事もあり、至らぬ点が多々あったと思います。ですが、今後の反省にして、これからも訓練を実施していけたらと考えております。



## クリスマスハートフルコンサート開催

2014年12月18日（木）19時より、当院新外来待合にて、恒例のクリスマス・ハートフル・コンサートが開かれました。みき音楽事務所様所属の「マンドリンアンサンブル・ちーむかぐや」の皆様による演奏が病院中を温めるようでした。結核予防会のマスコットキャラクターのシールぼうやも参加して、楽しい時間があっという間に過ぎていきました。



## 複十字病院の理念

複十字病院は、質の高い温かな医療と看護を提供するとともに、医療連携を推進し地域社会が求める包括的な医療の実現を目指します。

## ● 病院運営の基本方針 ●

1. 呼吸器疾患、がん、生活習慣病を柱とした質の高い温かな医療と看護の充実を図る。
2. 国の高度結核専門施設、東京都（肺がん、大腸がん、乳がん）診療連携協力病院としての役割をはたす。
3. 複十字病院登録医会を中心に医療連携を推進し、在宅医療、救急医療、災害時対応など地域医療に貢献する。
4. 健診事業を発展させ、疾患の早期発見と予防医療を推進する。
5. 複十字病院『患者権利章典』を尊重する。

## 複十字病院『患者権利章典』

患者のみなさまは、人間としての尊厳のもとに医療を受ける権利があります。医療は患者と病院がお互いの信頼関係のなかで共につくり上げるものであり、みなさまに主体的に参加していただくことが必要です。病院と病院職員は「患者中心の医療」の理念のもとに、複十字病院『患者権利章典』を守り、みなさまの医療に対する主体的な参加を支援します。

## ● 患者さんの権利 ●

1. 人格を尊重され、思いやりのある最新で最良の医療を受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて知る権利があります。
3. 十分な説明を受けた後、ご自身の選択に基づく治療を受け、また、法の許す範囲で拒否する権利があります。
4. 他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利があります。
5. プライバシーを保護される権利があります。
6. ご自身の診療記録、治療費の内容について開示を求める権利があります。
7. 退院後のことについて指導を受ける権利があります。

## ● 患者さんにご協力いただくこと（責任） ●

1. ご自身のこれまでの病歴や現在の病状について担当医に詳しくお話し下さい。
2. 病気を治すために、ご自身も必要な努力をして下さい。
3. 治療を継続して受けられない場合は、担当医師にご相談下さい。
4. ご自身や他の方の診療、入院生活に支障を与えないようにして下さい。

## 人事異動

2014年12月15日～2015年3月14日まで

### 【採用】

(看護師) 橋本 裕子 1/1  
(看護師) 君塚 舞子 2/1

### 【退職】

(看護師) 河村 洋子 12/31  
(看護師) 山口 周子 12/31  
(看護師) 中島 京子 12/31  
(看護助手) 黒原 弓子 12/31  
(看護師) 大窟 智子 1/31  
(看護師) 齋田 翔子 2/14  
(看護師) 酒井 章江 2/14  
(看護師) 並木 恵 2/28

## 行事予定

### 1. 複十字病院新人オリエンテーション

日時▶2015年4月3日(金)  
13:00  
場所▶複十字病院 講堂

### 2. ほろよいず 春のコンサート

日時▶2015年4月22日(水)(予定)  
場所▶複十字病院 新外来待合

### 3. 登録医会第12回総会

日時▶2015年7月4日(土)  
場所▶結核研究所 講堂

\*総会の詳細は、後日ご案内いたします。

## 編集後記

今年も桜の季節がやって来ました。花粉症はつらいけどと思いつつあのピンク色に癒されています。

新年や新年度が来ると、何かを始めようと思いつつ何日もその思いは持続せずに一年一年を繰り返してしまっています。1月に行なった職員検診の結果が手元に届いたからか、最近、生活改善を目指している方々によく出会います。今の気持ちを忘れずに健康な一年を過ごしたいですね!!

(to)